

疼痛緩和外科・いたみセンターを受診している患者さんへ

当科では下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められている者です。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手または閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で閲覧可能です。

記

研究課題名	HPV ワクチンなどのワクチン接種後に生じる種々の症状についての調査とその対応方法に関する研究
研究機関の長	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	(所属) 疼痛緩和外科 (職名) 教授 (氏名) 西原 真理
研究の対象となる方	倫理審査承認日～2026年2月までに HPV ワクチンなどのワクチン接種後に種々の症状が生じた9歳以上の患者さん
研究期間	倫理審査承認日～2026年3月31日
研究の目的および利用方法	【研究目的】HPV ワクチン接種後の症状について、①拠点病院を受診した方の診療データの収集 ②そのデータに基づいて、現在用いられている「HPV ワクチン接種後に生じた症状に関する診療マニュアル」のブラッシュアップを具体的な研究目的としています。 【利用方法】匿名化して集められた情報を分析し、上記②のマニュアル改訂の情報源等に利用されます。 【外部への試料・情報の提供】本学主体の研究ため非該当 【外部への提供開始日】非該当
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：診療録（カルテ）から年齢、性別、主な症状と持続期間、ワクチン接種後から1ヶ月以内の発症か否か、実施検査での異常の有無、日常への影響などを収集
提供する試料・情報を用いる学外研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	渡利英道(北海道大学・産婦人科)、矢吹省司(福島県立医科大学・理学療法学科)、井関雅子(順天堂大学・麻酔科)、北原雅樹(横浜市立大学・ペインクリニック内科)、木村慎二(新潟大学・リハビリテーション科)、川口善治(富山大学・整形外科)、天谷文昌(京都府立医科大学・麻酔科)、小川千加子(岡山大学・周産期・小児救急医療学講座)、山岸由佳(高知大学・感染症学講座)、山浦健(九州大学・麻酔蘇生学)、鈴木富雄(大阪医科薬科大学・地域総合医療科学寄附講座)、重田昌吾(東北大学病院・婦人科)
試料・情報に利用または提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用・提供を希望しない方は、2026年3月31日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 疼痛緩和外科 担当者：教授 西原 真理 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話：0561-62-3311（内線：12042）